JA忠類 広報誌
Monthly Information Paper JA Churui
～忠類はひとつ!! 組合員とJAをつなぐ広報誌～

I Love Churui
I♥ちゅうるい

6
2017 Vol.505

コントラクター1番草収穫作業が終了!!

平成29年度コントラクター事業による一番草収穫作業が6月7日から始まり、7月3日に終える事ができました。

http://www.ja-churui.com

Contents

理事会（第6回）	2
新規就農者激励会	3
幕別町畜産祭り	4
酪畜協議会学習会	5
コントラクター1番草収穫終了	6
十勝農業改良普及センター南部支所	7
普及センター技術情報	
生乳生産状況表	8
JAグループ通信	9

JA忠類 Vol.505 平成29年7月発行 ■発行 忠類農業協同組合 営農部経営課 ■印刷 (株)トリムシステム

JA忠類
発　行　忠類農業協同組合 営農部経営課
住　所　〒089-1792 中川郡幕別町忠類栄町259番地
電　話　01558-8-2311
E-mail　keiei@ja-tyu.nokyoren.or.jp

第六回　理事会

開催日　平成二十九年六月二十三日

報告事項

・農作物生育状況並びに生乳生産状況について
・幕別町畜産祭りの結果および十勝総合畜産共進会の開催について
・平成二十八年度補正　草地難防除雑草駆除対策事業の需要額報告について
・平成二十九年度　酪農経営支援総合対策事業の需要額報告について
・平成二十九年度　畜産・酪農生産力強化緊急対策事業の需要額報告について
・平成二十九年度　生乳流通合理化促進事業の需要額報告について
・個人事業主の大型投資について（平成二十八年度再編整備事業関連）
・平成二十九肥料年度　肥料価格について
・平成二十八年度　財務モニタリングの実施報告について
・平成二十八年度　体制整備モニタリング実施報告について
・理事と組合の間における利益相反取引に伴う実績報告について
・平成二十九年度　第1・四半期余裕金運用実績について
・JA所有地の造林事業について
・組合員異動報告について
・職員異動報告について

付議事項

※固定資産の取得について（管理部）
　高速カラー印刷機の導入について承認されました。
※固定資産の取得について（経済部）
　整備工場で使用の洗浄機、下部洗浄機の更新について承認されました。
※固定資産の取得について（営農部）
　畜産力緊急支援事業を活用した自走式ハーベスターの導入、公用車の更新、加工施設の卓上真空包装機の更新について承認されました。
※草地難防除雑草駆除対策事業に係わる施工業者の選定について
　三者見積もり合わせの結果、北海道農業公社を施工業者に選定することで承認されました。
※財務管理規程の一部改正について
　原案通り承認されました。
※ディスクロージャー誌の開示について
　農協法の規定に基づき作成したディスクロージャー誌の開示について、原案通り承認されました。
※出資金の譲渡承認について
　二件の譲渡について承認されました。
※平成二十九年度　第1四半期監事監査における回答について
　整備改善を要する事項への回答について承認されました。
※要員計画について
　本年度から来年度にかけての職員採用について承認されました。
※平成二十九年度　不良債権処理方針について
　不良債権処理方針について、協議決定されました。
※簿外管理債権の処理方針について
　原案通り承認されました。
※資金借入希望者の取扱い承認について（利益相反取引）
　原案通り承認されました。
※為替手数料等の変更について
　原案通り承認されました。
※平成二十九肥料年度　肥料取扱要領の変更について
　原案通り承認されました。

協議事項

1．役員視察研修について
2．技能実習法施行に伴う監理団体の許可申請に係わる体制整備について
3．畑作・青果対策の確立に関する基本的な考え方（組織討議）

平成二十九年度　新規就農者激励会開催！

六月十六日午前十一時より平成二十九年度新規就農者激励会が開催されました。
　この激励会は、毎年中央会の新規就農者激励状贈呈実施要領に準じて新規就農者・Uターン青年・新規学卒者を対象に関係機関とともに農業人としての門出を祝う催しです。

前列左より伊達さんご夫妻、加藤さん、和田さん夫妻

飯田幕別町長より激励の言葉をいただきました

　今年は伊達敦さん・景子さんご夫妻、加藤誠さん・理衣さんご夫妻、和田英樹さん・夕佳さんご夫妻をお招き致しました。
　激励会では多田組合長の他、御臨席頂いた幕別町飯田町長はじめ幕別町農業委員会谷内会長、十勝農業改良普及センター十勝南部支所草間支所長よりそれぞれ激励の言葉を頂きました。また、新規就農者の伊達さんご夫妻、加藤さんご夫妻、和田さんご夫妻には北農四連および全共連連名の激励状が伝達され、JA忠類からは記念品が贈呈されました。その後、伊達敦さんより、本会開催のお礼と今後の抱負について述べられました。
　激励会終了後、新規就農者を囲んで出席者による昼食を兼ねた懇親会が行われ、忠類総合支所伊藤支所長のご発声により牛乳で乾杯し、最後は幕別町農業委員会高橋事務局長より万歳三唱で閉会致しました。

伊藤支所長のご発声により牛乳で乾杯のあと懇親会が開催され、終始なごやかに歓談されていました。

南三町青年部スポーツ交流会

　JA忠類青年部（部長東口雄次）は、六月八日（木）に広尾町青少年研修センターにて広尾線3JA青年部（忠類・大樹・広尾）合同スポーツ交流会を開催致しました。
　当日は二十一名が参加し、バレーでリーグ戦を行いました。日頃の疲れも忘れ、どの試合も白熱した試合展開となり、気持ちの良い汗を流しました。
　スポーツ交流会後は、ラーメン飯店大将に場所を移し、懇親会を行い、三農協青年部での絆を深めました。

とても白熱した試合展開でした！！

平成二十九年度 幕別町畜産祭り開催

五月三十一日、幕別町南勢牧場多目的広場にて幕別町畜産祭りが開催されました。

本年は乳用牛四十八頭、肉用牛十五頭、計六十三頭の出陳があり、今回、忠類からは（農）ファーストブリングアップ蛯、吉田貴幸さん、原敦さんの三名が参加し、全九頭での出陳となりました。

渡邊靖之実行委員長開会挨拶後、審査が開始されました。

乳用牛の部は、一般社団法人家畜改良事業団十勝種雄牛センター 栗田 敦氏のもと審査が行われ、忠類からは第十一部（4歳経産牛クラス）へ出陳された『ヨツシー タレント ハーゲン 2ND ET』号（吉田貴幸氏）は2等BUとなりました。

渡邊実行委員長より開会挨拶

黒毛和種の部は、十勝農業協同組合連合会 山中 格氏に審査をいただきました。

忠類からは、（農）ファーストブリングアップ蛯が三頭の出陳、原敦さんが五頭の出陳となり、原敦さんは第十六部（雄去勢牛クラス）で『和男』が一等、第十七部（雌未経産クラス）で『ともこ』が二等となり、（農）ファーストブリングアップ蛯は第十九部（雌未経産牛クラス）で『えび27の55』が一等となりました。

応援でいらした方々には、ジャッチングコンテストや昼食交流会、お楽しみ抽選会にも参加いただきました。来年も積極的な出陳をお待ちしています。

来賓挨拶をされる喜多道議

ＪＡ忠類出陳畜審査結果

第11部（4歳経産牛クラス）		
2等 BU	ヨツシー タレント ハーゲン 2ND ET	吉田貴幸
第16部（雄 去勢牛）		
2等	符食符食菜摘	原菜摘
1等	和男	原和樹
第17部（未経産7ヶ月以上10ヶ月未満）		
2等	ともこ	原畜産
3等	えび28の33	ﾌｧｰｽﾄﾌﾞﾘﾝｸﾞｱｯﾌﾟ蛯
4等	かずてるしげ	原和樹
第18部（未経産10ヶ月以上15ヶ月未満）		
5等	みえこ	原和樹
第19部（未経産牛）		
1等	えび27の55	ﾌｧｰｽﾄﾌﾞﾘﾝｸﾞｱｯﾌﾟ蛯
第20部（経産牛）		
3等	えび22の50	ﾌｧｰｽﾄﾌﾞﾘﾝｸﾞｱｯﾌﾟ蛯

幕別町畜産祭り主な成績

乳牛の部 未経産					
最高位	HS ソロモン ベテイ	砂田宏行	ＪＡ幕別町	第 1 部（カーフクラス）	1等JC
準最高位	ポイントリバー ゴールド オア キユン6	田村寛興	ＪＡ幕別町	第 3 部（ジュニアミドルクラス）	1等RJC
乳牛の部 経産					
最高位	メドービユー ドルマン エドワード フラワー	森太一	ＪＡ幕別町	第 9 部（3歳経産ジュニアクラス）	1等GC、BU
準最高位	ノース ジエラルデイン ゴールド フローラル	久保田良幸	JAさつない	第 11 部（4歳経産）	1等RGC、BP
黒毛和種の部 未経産					
最高位	ちさと	山田貴赦	ＪＡ幕別町	第 18部（10ヶ月以上15ヶ月未満）	1等JC
準最高位	ひさしげ4	斉藤雅登	ＪＡ幕別町	第 18部（10ヶ月以上15ヶ月未満）	2等RJC
黒毛和種の部 経産					
最高位	しらきたかつ	山田貴赦	ＪＡ幕別町	第 20部（経産牛）	1等GC
準最高位	まほやす	西嶋一洋	ＪＡ幕別町	第 20部（経産牛）	2等RGC

酪畜協議会会員研修会開催！

五月三十日、ＪＡ忠類酪畜協議会（渡邊靖之会長）は酪農部会・和牛改良組合会員を対象に「子牛の感染症予防対策」研修会を開催しました。

渡邊会長より挨拶

講師は十勝農業共済組合南部事業所 星 恵理子 氏をお招きし、講演頂きました。

感染症とはウイルス、細菌、寄生虫等によって起きる病気で発生には感染源、伝搬経路、感受性宿主の三つ要因があり、この内一つが欠けると発生は起こらない。

予防対策としては、感染動物の摘発、治療による感染源の清浄化。

伝搬経路については牧場の出入りの際の消毒の徹底、使用機器の洗浄消毒、害虫対策等、感受性宿主の対策は家畜の防御機能の向上や、感染症に強い子牛を作るための初乳給与やワクチネーションなどについて詳しく講演を頂きました。

研修会後は、ナウマン公園焼き肉コーナーに場所を移し交流会が開催され、会員間の意見交換も交えながら盛会な交流会となりました。

今年も会員同士の意見交換も交えて盛会な交流会となりました

ストップ！ 農作業事故

農作業別の安全確保 施設内作業編

人間工学専門家●石川文武

今回はハウスと畜舎に関係した安全作業について考えましょう。

ハウス関連では、ビニールを張る作業での転落が報告されています。細いパイプの上での不安定な作業なのに、命綱を使わないための転落です。大けがをして貴重な時間を失ったり精神的ダメージを受けたりしないように、安全装備を心掛けましょう。一度大きな張力がかかった命綱は二度と使ってはいけません。雨よけハウス内での高所作業では脚立やはしごからの転落を防ぐようにしましょう。ヘルメットの着用が必須です。ハウスの中には柱が多数ありますし、支柱を支えるために縦横に針金などが張り巡らされています。耕耘（こううん）や種まき、移植などで接触しないようにカラーリボンなどで目印を付けると事故防止につながります。日中のハウス内は高温になることがしばしばです。熱中症にならないように作業計画を立てるとともに水分を補給しましょう。作物が生育してくると、病虫害防除作業も多くなります。閉鎖された環境で、散布した農薬を吸い込んだり肌に付着しないよう、適切な防除衣を着用し、防除用のマスクも使いましょう。防除作業の後は一定時間の立ち入り制限が必要です。第三者の立ち入りを防ぐための施錠や注意看板の掲出などを心掛けましょう。

畜舎内では給餌とボロ出しが毎日の作業です。フォークによるけがが多く発生しています。組み作業の場合には周囲の位置関係に気配りが必要です。また、安全靴を着用しましょう。換気が不十分と思われる畜舎もまだあります。家畜と作業者の呼吸器系への影響を小さくするために、十分な換気装置を装備しましょう。

カントリーエレベーター、選果場などでも施設内作業になりますが、これらは労働安全衛生法・同規則に従った、安全対策が施されていなければなりません。建設時には適合していても、その後の管理運営によっては、不適合となっている場合もあります。問題が起こってから反省するのではなく、常に危険予知を行い必要な安全対策を取ってください。

コントラクター事業 一番牧草収穫作業終了

コントラクター事業による今年度の一番牧草収穫作業が六月七日より開始されました。

昨年は長雨等の天候不順により収穫作業が大幅に遅れ、品質の低下等も含め大変な一年でありました。作業開始当初は天候が心配されていましたが、長雨もなく、好天が続き作業も順調に経過し、昨年より約二週間程早い七月三日に全ての収穫作業を終えることができました。

昨年とは対照的に大半が収穫適期に刈り取りを行うことができ、秋の開封が楽しみな良い結果となりました。

引き続き二番牧草、デントコーン収穫と好天に恵まれる事を期待しております。また、利用者の皆様におかれましては収穫作業中は大変お疲れ様でした。

コントラクター事業では牧草、コーン収穫の他、堆肥散布や尿散布、堆肥切り返し等も行っておりますので組合員の皆様のご利用をお待ちしております。

万一に備えよう　わが家の防災
水と食料はどのように用意すべきか

災害危機管理アドバイザー●和田隆昌

人は平穏な日々が続くと「いざというときの備え」を忘れてしまいます。何度も津波の被害を受けた東北地方でさえ、自分に都合の良い「しばらくは大丈夫」という考えに陥ってしまい「いつか、そのうち」と備えることを怠ってしまいます。

熊本地震は１００年間地震の被害のなかった地域で発生した地震であったために、備蓄のない多くの住民は困窮しました。日本は世界でもまれに見るインフラの整った国です。蛇口をひねればそのまま飲むことができ、停電することもごくまれなこの国では、当たり前のように安全な水や食料が供給されています。

これは先進国の中でもごく一部の国に限られたことです。

ただし、ひとたび広域災害が発生するとその常識は通用しません。特に水の不足は健康被害につながります。3日間飲むことができなければ生死に関わります。近年、各地で豪雨被害が連続して発生していますが、上流の取水地域で発生すれば広範囲に断水する可能性があり、下水道が被害を受ければ上水道も断水することは意外に知られていません。

さて水の準備の仕方ですが、人は1日に飲用、調理や炊事、洗濯、トイレなどに約3Lの水が必要です。飲用以外にも生活水を用意しておきましょう。水道水をペットボトルやポリタンクに詰め、定期的に交換することが肝要です。よく「3日間の水と食料」といわれますが、大規模災害に備えるためには1週間分の備蓄を推奨します。食料は特別な保存食である必要はなく、缶詰やレトルト食品を多めに購入し、古い食材から使用して、減ってきたら買い足すようにしましょう。その際、非常時に不足しがちな、野菜や果物の缶詰を追加しておけば、健康被害への対策になります。

●十勝農業改良普及センター十勝南部支所●

暑い季節…暑熱から採食量を守る

1 牛の体温調節機能

恒温動物は、体の熱生産と熱放出量の調整で体温を一定に保ちます。

牛の体熱放出に着目したデータがあります（表1）。

表１　乳牛の体熱移動

環境温度	10℃	26℃
周囲の空気に放熱する能力	100	40

John T.Tyson (2005) 一部改変

26℃の環境への体熱放出は、10℃の場合に対して約４割になると考えられる。

牛は汗腺が少なく、体温放出は、汗による蒸散よりも、皮膚の表面と呼吸器から、直接の蒸散によって行います。汗のように多量の水分蒸散はないので、放熱効率が良くないことと、同じ気温でも周囲の湿度が高い程、皮膚からは蒸散しにくくなります。そこで、口を開けて水分蒸散する行動（パンティング）に至る段階になると、反すうが停止し、牛体は水分、ミネラルを失います。

図１　パンティング状態

2 牛舎内温度・湿度の管理

牛舎内の温度と湿度を、温湿度計で把握しましょう。

乳牛が暑熱を感じる気温は、24℃以上で、27℃で体熱放出の代謝活動が大きくなるといわれます。扇風機などの冷却策がなければ、呼吸器からの熱放散をしようとします。

送風を牛体に直接当てる場合は、前駆部が良いといえます（図2）。

飼槽の上や牛床に設置しているものの角度や送風状態を確認してみましょう。暑熱対策としての風速は、1.1～2.2m／秒とされています。

また、体温放出効率が低下しないよう、牛舎内湿度は40％程度を目標としたいです。送風には冷却目的と同時に、換気の機能も望まれます。

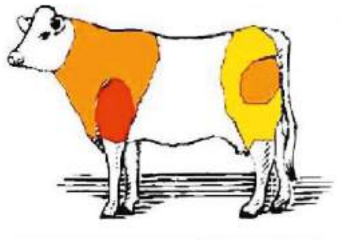


図２　濃色ほど熱放散量が大きい部位（マクリーン）

3 水の確保

気温上昇により飲水量が増えます。水槽は、全て正常に機能するように清掃、メンテナンスを強化しましょう。場合によっては、パーラーの戻り通路などに臨時増設も考えられます。ウォーターカップの水量が不十分なら改善が必要です。既存の配管へ給水管の増設も可能です。

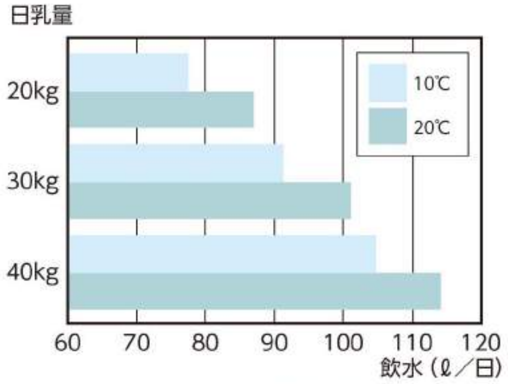


図３　気温と飲水要求量

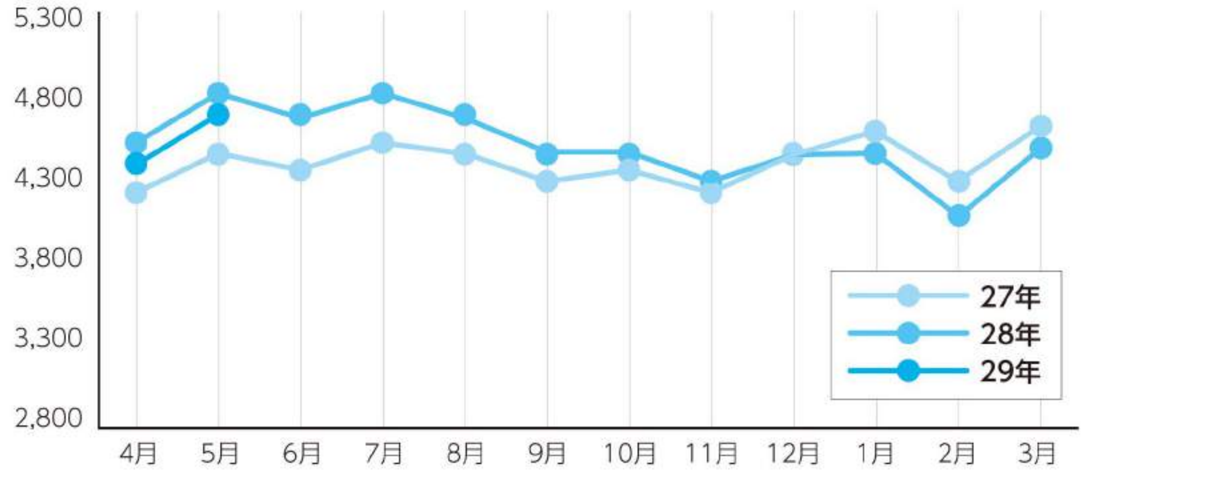
4 ストレスを増大させない

牛自身、採食で代謝熱が発生する発酵タンクを持ち、「食べる＝暑い」のです。ゆえに直接の暑さに飼養環境の悪条件を重ねない管理が採食量を守ることになります。

排除すべき暑熱ストレス増大要因
- 高湿度
- 空気の動きがない
- 水が満足に飲めない
- 直射日光

直射日光については、日照側を遮光カーテンで覆うことが有効です。身近な技術の積み重ねですが、徹底することで効果的になります。

生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより

乳　牛

●売買頭数：637頭（成立74.1%）

●平均価格（税込）：871千円（先月比79↓、前年比180↑）

相場予想

先月の平均価格は、夏分娩牛の上場が中心となり、購買意欲が低くなったため弱含みで推移しました。

今月も夏分娩牛の市場となるため、平均価格は弱含みで推移すると考えられます。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移

黒毛和種・ F1

結果速報

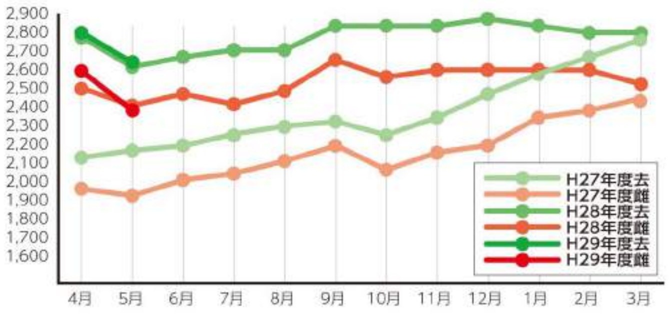
●売買頭数

黒毛和種去勢	**969頭**	（成立90.6%）
乳用交雑種去勢	**1,343頭**	（成立91.4%）
黒毛和種雌	**584頭**	（成立85.4%）
乳用交雑種雌	**1,416頭**	（成立92.4%）

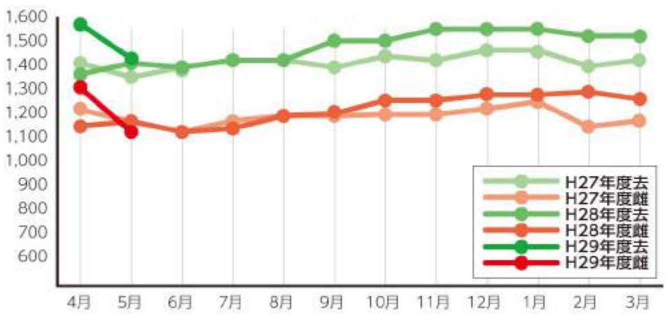
●kg単価

黒毛和種去勢	**2,634円**	（先月比161↓）
乳用交雑種去勢	**1,420円**	（先月比145↓）
黒毛和種雌	**2,391円**	（先月比204↓）
乳用交雑種雌	**1,153円**	（先月比140↓）

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移



JA GROUP TSUUSHIN

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道信連

5月に、JA窓口職員のスキルを向上し、JA窓口をご利用いただく皆様のニーズに応えていく事を目的に「JAバンク北海道窓口セールスコンクール」を開催しました。

当日は、各地区の予選等を突破した16名が「年金指定替部門」、「純新規推進部門」の2部門で接客や提案力を競いました。JAバンク北海道では、コンクールを通じて、より一層のお客様の満足度向上を目指して参ります。

JA北海道中央会

日EU・EPA交渉が大枠合意に至る可能性が高まっていることから、6月14日「日EU・EPA交渉から北海道農業を守り抜く要請運動」を実施し、日EU等経済協定対策本部（自民党）の幹部役員、道内選出与野党国会議員及び農林水産省に要請を行いました。乳製品、豚肉、小麦粉調製品、馬鈴しょ、でん粉等が大きな焦点になると想定されますが、十分な情報提供がないまま大枠合意に向うことに大きな不安が広がっています。引き続き、政府・与野党に対して衆参農林水産委員会決議（H28.12）に基づき、農林水産物重要品目の再生産を可能とする国境措置の確保や交渉内容・進捗状況について丁寧な情報提供を求める運動を展開していきます。

ホクレン

ホクレンは、酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しておりますが、平成29年度から和牛繁殖農家の皆様に対する事業「冬期子牛飼養環境向上支援事業（和牛版）」を始めました。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。詳しい日程・事業内容については、JA担当課へ問い合わせください。

JA共済連北海道

社会貢献活動の一環として、昭和50年から継続して道内各自治体へ救急自動車を寄贈しています。道庁総務部の危機対策課へ寄贈先の選定審議を依頼しており、今年度は4台を寄贈予定。今年度の寄贈が完了すると累積寄贈台数は記念すべき200台を超え、202台を数えることとなります。

今後も行政やJAと連携を図りながら交通事故防止と被害者救済への取組みを強化し皆様の為に貢献して参ります。

JA北海道厚生連

北海道厚生連では、イメージキャラクター「コウセイくん」を制作しました。医療をイメージした白に北海道の緑を取り入れた、のんびり優しい性格のシロクマくんです。今後、様々な場面で登場しますので、癒されるキャラクターとして親しんでいただきたいです。

JA²MP（ジェイエイジャンプ）アプリで北海道厚生連を検索すると「コウセイくん」が登場しますので、皆さん是非会いに来てくださいね。